

謹賀新年



今月の主な内容

- 新年のご挨拶
- 相互交流事業 ニュージーランド派遣
- 税に関する表彰・入賞作品

今月の表紙

朝日に照らされ 雪原に根を張る1本の木
皆さまにとって希望に満ちた年になりますように

新年を迎えて

湧別町長

加藤 政弘



皆さま、新年明けましておめでとうございます。

令和8年の新春を迎え、皆さまにおかれましては輝かしい新年をお過ごしであることと心よりお祝い申し上げます。

また、日頃から町政へのご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、昨年11月15日に湧別町長に就任させていただきました。それ以前は議会議員として町政に携わってまいりました。就任して間もない状況ではありますが、これまでの経験を生かしながら、町民の皆さまとともに湧別町の更なる発展を目指して日々努めております。皆さまから寄

せられるお声やご縁が、私に新たな町政の原動力を与えてくださることを大変心強く感じております。

昨年を振り返りますと、国内では大きな出来事が相次ぎ、私たちの生活や地域を直撃する課題が数多く浮き彫りになった1年でありました。

経済情勢に目を向けますと、物価高騰が続く中で高市新内閣が発足し、経済対策を積極的に推進する姿勢が示されており、エネルギー価格や生活必需品の値上がりが家計を圧迫し、私たちの生活に不安を与える状況に対し、国では『重点支援地方交付金』の拡充を通じて補助金や消費刺激策などの施策が進められており、私たち地方自治体もこうした国の政策と密接に連携し、町民の皆さまが安心して生活を営める環境を整えるために努力してまいります。

また、昨年12月に発生した青森県東方沖を震源とする地震では、青森県八戸市で震度6強が観測され、国内で初めての後発地震注意情報が発表されるなど、これまでにない対応を求められる状況となりました。私自身も就任早々この地震を経験し、自然災害の恐ろしさを深く実感するとともに、改めて地域全体の安全性を高める重要性を痛感しております。こうした災害対応のみならず、町民の皆さまの安心・安全な暮らしを実現するための準備を整えていく必要があると考えております。

さて、今年は干支である「午（うま）」の年です。馬は古来より「勢よく駆ける」姿から、発展や飛躍、そしてエネルギーシユな動きを象徴する動物とされてきました。これを私たちの町政にあてはめて考えるならば、この1年を町民の皆さまとともに挑戦を恐れず、新たな目標へと大きく飛躍する1年にしたいと考えております。馬が力強く地を蹴るように、現状を見据えながら積極的に次のステージへと進むことが、未来への希望を育む原動力となると思っております。

町長としての歩みは始まったばかりでございますが、魅力ある地域を目指すし、産業の活性化や地域資源を生かした観光振興あるいは災害対策など、次世代へつなげる社会づくりに力を注いでまいります。また、人口減少が進む中でも「住み続けたい」と思える町を実現するため、子育て支援の強化、高齢者サービスの充実、地域コミュニティの活性化などの取り組みを進め、町民の皆さまお一人おひとりに寄り添った政策を実現してまいります。

結びに、本年が町民の皆さまにとって充実した一年となり、健康とご多幸に恵まれますことを心よりお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

皆さまのご健康とご多幸を
心からお祈り申し上げます

湧別町

町長 加藤 政弘

湧別町教育委員会

教育長 阿部 勉

湧別町農業委員会

会長 吉村 智之

湧別町選挙管理委員会

委員長 高橋 直司

湧別町監査委員

代表 水野 豊

湧別町消防団

団長 高橋 直司

迎春

新年のご挨拶

湧別町議会議長

脇坂 敏夫



謹んで新春のお慶びを申し上げます。令和8年の輝かしい幕開けにあたり、湧別町議会を代表して町民の皆さまに心より新年のご挨拶を申し上げます。また、日頃より議会運営に関し多くのご支援とご協力を賜りましたこと、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

昨年は町長選挙ならびに町議会議員選挙を経て、新たな体制が発足いたしました。町民の皆さまが貴重な一票を通じて示されたご期待に応えるべく、議会としてはこれまで以上に公正で活発な議論を重ね、町民一

人ひとりの声にしつかりと耳を傾けながら取り組みを進めてまいります。幸いなことに湧別町は、町民の皆さまの努力の成果もあつて財政的に良好な状況にあります。しかし、新たな視点を持ち、議論を深めることで、今後の町政運営がさらに発展を遂げるよう、新体制のもとで一丸となつて努力してまいります。

さて、令和7年もたくさんの方が話題となりました。

高市早苗氏が女性初の内閣総理大臣に就任し、流行語大賞を受賞するなど時の人となりました。

スポーツでは、アメリカ大リーグでの日本人選手の大活躍、北海道日本ハムファイターズの躍進など、筋書きのないドラマを見せてくれました。

町内に目を向けると、少年野球、吹奏楽、陸上など多くの競技で全国大会や全道大会に出場するなど、湧別町の未来を担う子どもたちの活躍が見られました。

また、チューリップフェアや屯田七夕まつり、産業まつりなど町内のイベントも大盛況で大いに盛り上がりを見せました。

その一方で、令和の米騒動といわれるお米価格の上昇、それ以外にも

多くの品物の価格が高騰し、物価高が続いています。特にエネルギー価格や食料品価格が引き続き上昇傾向にあり、多くの町民の皆さまが日々の暮らしに困難を感じていらっしゃると思います。

湧別町ではこれまでもさまざまな対策を講じてまいりましたが、議会としては引き続き行政と連携しながら、町民生活への負担を少しでも軽減する施策を追求してまいります。

平成21年の合併以降、湧別町は、町民一人ひとりの力を結集させることで地域課題を乗り越え、発展を遂げてきた町です。スポーツや文化活動を通じて町民の絆を深めると同時に、時代に即した政策を実現し、町全体が継続的な発展を果たしてまいります。

令和8年という新しい年も、この基盤をさらに強固なものにしつつ、「住みたい」「住み続けたい」と言われる町づくりを目指してまいります。

結びに、本年が皆さまにとつて実り多き一年でありますよう、益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

謹んで

新春のお慶びを申し上げます

湧別町議会

議長 脇坂 敏夫

副議長 下田 英人

総務厚生常任委員会委員長

村川 勝彦

産業文教常任委員会委員長

小形 秀和

議会運営委員会委員長

高田 映二

議員

村瀬 直由

大野 真紀

竹林 直人

姉崎 正弥

檜山 洋一

関野 一良

令和7年度 相互交流事業 中高生ニュージーランド派遣



11月4日から14日までの11日間、中高生5人（湧別高校1人、遠軽高校1人、飛鳥未来高校1人、上湧別学園1人、ゆうべつ学園1人）と引率者2人の計7人が、友好都市であるニュージーランドのセルウィン町などを訪問しました。

ホストファミリーと上手くコミュニケーションを取り、ニュージーランドの生活を満喫する一方、自分の目標達成のため一生懸命たくさんの事を学んできた派遣者のレポートをご紹介します。

※紙面の都合上、抜粋して掲載しています。全文は町ホームページと図書館で公開しています。



町ホームページ



ニュージーランド派遣について

湧別高等学校 3年 加藤 優希

私はニュージーランドの人々の価値観を学ぶ、英語力を鍛える、そして現地の文化を楽しむという目標を立てました。一つ目のニュージーランドの人々の価値観を学ぶという目標はホストファミリーやダーフィールドハイスクールでの先生や生徒、現地の人の接し方から学び、目標を達成できたと思います。

ダーフィールドハイスクールの授業で「ハラケケ」という葉っぱを使ってプレスレットやバラを作っていたのですが、私は最初から最後まで悪戦苦闘していました。それでも、その授業の先生は最初から最後まで自分に付き添って教えてくれました。私は迷惑をかけてしまったと思ったのですが、先生はどんなときもニコニコしていて、優しく教えてくれました。

二つ目の英語力を鍛えるという目標に関しても達成できたと思います。しかし、私はカタカナ英語に慣れているため、現地の人と話している本当の英会話についていくことができず何度も聞き直したり、アプリを使って翻訳をすることもありました。それでも、何とかホストファミリーやバディ、先生や店員さんとコミュニケーションを取ることができ、ニュー

ジーランドに行く前よりはスムーズにできたのではないかと思います。

三つ目の文化を楽しむという目標も達成できたと思います。私は現地での自然や動物、建物を見たり現地の食事を楽しむことができました。日本とは違う自然がニュージーランドにはたくさんあり、中でも印象に残ったものがキャッスルヒルの岩やクライストチャーチの展望台に生えていたタリックというイネ科の植物です。動物はたくさんの種類がいて、極めて希少な鳥のタカヘ、国鳥のキーウィ、多くの羊などがいました。

私がこの研修に参加することができたのは、たくさんの人の協力があったからだと思います。みなさん、本当にありがとうございました。



ニュージーランド派遣について

遠軽高等学校 3年 内野 凜

私はニュージーランドに留学してみて、たくさんの事を学びとても良い経験をする事ができました。この留学で将来的に必要なコミュニケーションスキルを上げたいというのと、ニュージーランドの文化について知りたいと思い参加しました。

最初の頃は、ホストファミリーが何を言っているのが全く分からず早くもめげそうになりましたが、曖昧な英語でも自分の言葉でなるべく話したいと思い、英語が分からなくてもたくさんコミュニケーションを取れたかと思っています。

ニュージーランドの文化についても多くのことを学ぶことができました。学校では授業でマオリについて一日学ぶ機会があり、マオリについて知ることができました。バディとフライブレッドというマオリの伝統的な揚げパンを作って食べたり、ハラケケという丈夫な葉を使い、プレスレットや花を作りました。

ニュージーランドの学校は日本の学校と比べるとラフな印象を受けました。小学生からピアスやネックレスを

つけたり、髪色を変えたりしていたり、休み時間もみんな外に出てそれぞれの時間を過ごしていました。そして、生徒のみんなはとてもフレンドリーでたくさん声を掛けてくれて、人の温かみをとっても感じました。

私はこの留学でたくさんの事を学び、自分の自信になるものを得ることができたし、ホストファミリーや学校のバディとのたくさんの思い出を作ることができました。

最初はとても不安でやっていけるかなと思っていましたが、ホストファミリーや周りの方のおかげで楽しくてとても濃い留学生活を送ることができました。この経験を生かして進学した後もその先も頑張っていきたいと思っています。



ニュージーランド派遣について

飛鳥未来高等学校 3年 久保 優心

私は中学生の頃、留学に行きたくて仕方ありませんでした。キラキラした部分だけを見ていて、留学をただだけで自分が変われると思っていたからです。ですが、高校生の私は留学に行ってみたい気持ちと行きたくない気持ちがありました。自分自身が高校で色んな経験をして自分に自信もなかったし、結局自分には無理だと半ば諦めていたからです。この交流事業が今年開催されると知った時、正直行きたくないと思いました。でも父や母、姉が背中を押してくれて参加することになりました。

交流事業に参加してみた今、私は本当にニュージーランドに行ってきたと思っています。私がみていたちっぽけな世界だけでなく、こんなにも違った世界があることを知れ、周りの目を気にせずに過ごせる場所に出会いました。

ニュージーランドと日本で人の価値観が大幅に違うと思うところはありませんでした。ニュージーランドの普通と日本の普通は違うということに気付くことができ

ました。ダーフィールドの生徒はピアスをあけ、髪を染め、メイクもしておしゃれを楽しんでいました。街中では裸足で歩いたり、日本では視線を向けられるようなونسリーブやタイトな服などもみんな気にせずに着ていました。また、ショッピングの際は、店員さんと目が合うと笑顔で挨拶をしてくれます。知らない人でもフレンドリーに挨拶し合うところが本当に素敵だと感じました。反対に日本の良いところも感じる事ができました。ご飯の美味しさや礼儀、丁寧さなどです。

言葉の壁は大きく感じましたが、優しい人が多くて初めての海外はとても良い思い出になりました。



ニュージーランドでの学び

上湧別学園 8年 村上 謙心

初めての海外は楽しみよりも不安の方が大きく、英語が上手く通じるのか、ホストファミリーに上手く馴染めるのか、学校で友達ができるのかなど、色々なことを考えてしまいました。しかし、いざニュージーランドに着いたら、思ったよりなんとかなるかと安心しました。

滞在中はダーフィールドハイスクールでマオリの文化について学んだり、英語について学習しました。また、歓迎会のハカは迫力があり、見応えがありました。自分たちはそのお返しとしてパブリカを踊りました。

週末はホストファミリーと海を見に行き、海は透き通るほど青くカモメのような鳥がたくさんいて、ニュージーランドでも海は日本と似ているように感じました。その後、ショッピングモールで日本のお土産を買い、ちょうどハロウィンも終わった時期だったので、クリスマスの準備をしていました。ニュージーランドではクリスマスの準備が早いようです。

日曜日はホストファミリーのリ안의マウンテンバイ

ク場を見に行きました。マウンテンバイク場を見たのは初めてでしたが、大きなワクワク感に包まれました。次の日がドイツツアーで楽しみからか夜はあまり眠れませんでした。ドイツツアーでは山に行き、山の石は遠目からは小さく見えたが、近くで見るとその迫力に圧倒されました。

さよならパーティーでは、ホストファミリーとたくさんお話をしました。ホストファミリーとのお別れは寂しかったですが、楽しい思い出を作れてよかったです。

苦労した事もたくさんありましたが、留学に行けてよかったです。



ニュージーランド派遣について

ゆうべつ学園 8年 平形 楓

私は留学に行く前は「なんとかなるだろう」と思っていました。ホームステイ初日、ホストマザーやホストシスターが話している英語は事前研修で習っていたようなゆっくりで分かりやすい英語とは違い、早くて何を言っているのか想像もつきませんでした。ですが、ホストファミリーは優しく、スマートフォンや簡単な単語を言ってくれたり、ゆっくり話しジェスチャーなどで私に伝えるためにたくさん工夫してくれました。なので、私はある程度理解することができました。

私は英語がペラペラではないので、主に「Do you〜?」「Can I〜?」などの簡単な英語で質問をして会話を広げ英語でのコミュニケーションを取りました。

私がニュージーランドに行って驚いたことは、まずニュージーランドの生活では、私のホストファミリーはご飯をテーブルで食べないことです。日本ではテーブルで食べることが当たり前だけど、ニュージーランドには、食卓用のテーブルがない家があって、ソファに座って

食べていたので驚きました。学校生活では、ブレスレットやネックレスをつけていたり、スカートがとても短かったです。私のホストファミリーは髪の毛を染めていて、「私の学校では髪を染めちゃいけないんだよ」と言ったら、とても驚いていました。先生もワンピースを着ていたし、学校バディの授業を見に行ったらテストをしていて、生徒が真面目にやっていなかったのが先生が回答用紙をビリビリに破いて、「Out Side」と言っていました。それをみて私は日本ではありえないことばかりで驚きました。



派遣に参加した中高生の保護者の声をご紹介します

- 事前研修からとても楽しいと笑顔が溢れていました。
- 事前研修を行うたびに自信がついてると思いました。初めての場所や人を苦手としていましたが、積極的に行くようになりました。
- 自信を持って行動することができるようになったと思います。
- 思ったことをたくさん話してくれるようになりました。
- 帰国後、英語の発音が良くなっていました。
- ニュージーランドのことについて事前に調べ準備したことで調べる力がついたと思います。
- 引率者もいるので安心して送り出せました。
- 新たな自分を発見できたり、日本や湧別ではできないことにチャレンジしてほしいです

